

【参考】

「愛知コムギ体験隊」

愛知県製粉協会とコムギケーション倶楽部は、平成26年度から、(一社)全国米麦改良協会の「国内産麦利用拡大推進事業」の助成を活用し、本県開発の小麦「きぬあかり」の利用拡大に取り組んでいます。

平成29年度からは、愛知県産小麦の魅力を発信するキャンペーンを行うため、「愛知コムギ体験隊」を発足させ、今年度は、未来の愛知を担う子どもたちとともに、「未来の愛知コムギめし」の開発プロジェクトを実施しており、愛知県の大村知事が隊長を務めています。

○愛知県製粉協会

所在地：名古屋市昭和区折戸町4-15 愛知県食糧会館内

構成員：(株)日本製粉、(株)山本製粉、(株)セントラル製粉、(株)興亜食糧、(株)小笠原製粉、(株)西尾製粉、(株)金トビ志賀

会 長：志賀重介 (株)金トビ志賀 代表取締役社長)

事業内容：製粉業に関する技術の研究、行政機関ならびに関係団体と連絡などを行い製粉業界の発展と会員の親睦を図る。

○コムギケーション倶楽部

所在地：東京都中央区新富2-4-12 青木ビル2F (一社)日本食農連携機構内

構成員：(一財)製粉振興会、製粉協会、協同組合全国製粉協議会、(一社)日本食農連携機構

事業内容：小麦の価値の再発見とPR活動、生活者参加型のPRイベントの実施、小麦に関する情報の収集と発信などを全国各地で行い国産麦の需要拡大を図る。

「きぬあかり」導入以降の愛知県の小麦生産

「きぬあかり」は日本麺用小麦で、平成22年に愛知県の奨励品種に採用され、平成24年産から一般栽培が開始されました。平成29年産では、県内小麦作付面積5,500haのうち8割以上で栽培され、愛知県の主力品種となっています。「きぬあかり」の導入以降、愛知県産小麦の単位収量、収穫量は増加しており、平成29年産では単位収量は北海道に次いで全国第2位、収穫量は全国4位となりました。

○小麦の単位収量(kg/10a)

順位	25年産	26年産	27年産	28年産	29年産
1	北海道 436	北海道 447	北海道 596	宮城 446	北海道 500
2	群馬 433	愛知 428	群馬 421	愛知 427	愛知 473
3	愛知 418	群馬 410	埼玉 418	北海道 427	群馬 436
4	埼玉 399	福岡 379	栃木 402	群馬 424	埼玉 403
5	香川 375	埼玉 378	愛知 380	埼玉 369	栃木 396

○小麦の収穫量(千t)

順位	25年産	26年産	27年産	28年産	29年産
1	北海道 532	北海道 551	北海道 731	北海道 524	北海道 608
2	福岡 50	福岡 58	福岡 47	福岡 44	福岡 50
3	佐賀 30	佐賀 34	佐賀 30	佐賀 27	佐賀 35
4	群馬 25	群馬 24	群馬 24	愛知 24	愛知 26
5	愛知 22	愛知 23	愛知 21	群馬 24	群馬 24

「ゆめあかり」

本県に適したパン・中華麺用小麦で、平成 28 年に県の奨励品種に採用され、平成 29 年産から一般栽培が開始されました。県産硬質小麦として、今後作付の拡大が期待されています。

	28 年産	29 年産	30 年産
作付面積	19	51	170
収穫量 (t)	62	207	590